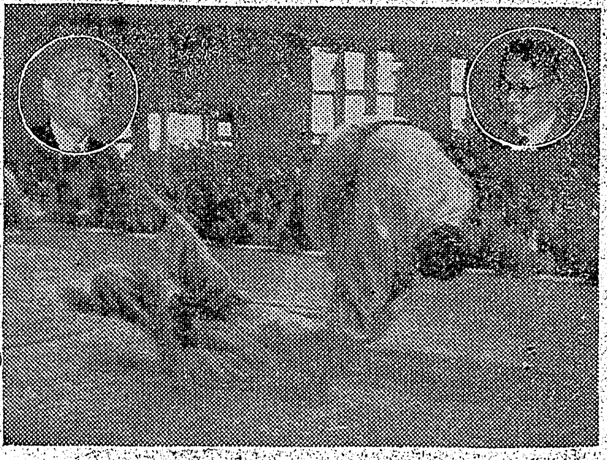
夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381.1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

TEL・9 99.999
釜屋 諸橋合名會社

地元軍 決勝に敗る
柔道大會空前の盛況


猛闘の場面…圓内は嘉納館長（右）と關内會長

県柔道連盟、磐城柔道会共催の県下柔道大会は十三日午前八時から平市公会堂本館の特設場で県北、県南、会津、相双、磐城の五地区から五十名の選手が参加して開かれ、会長関内代議士の挨拶、平市長の祝辞、嘉納館長の講演審判長懸崎正見八段の審判上の注意、模範形の披露の後第一回戦相双対県南の試合から開始、激戦を展開したが結局決勝は会津対地元磐城の間で猛闘が繰り展げられたが4対2で会津が優勝、地元軍は惜しくも第二位だった、戦績は次の通り（○は勝者）

◇一回戦
相双5−4県南
只野−体落−○中沢
塩沼−背負−○佐藤
○橋本−優−玉木
太田−外刈−○山本
目黒−引分−矢吹
○宍戸−優−渡辺
○木田−大外落−草野
金沢−くずれ四方−○山田
○岡崎−内股かえし−伊藤
○飯高−大外かえし−矢吹

◇二回戦
県北2−3磐城
○水野−内股−遠藤
○小池−内股−白井
鈴木−引分−桜井
佐久間−内股−○太田
新川−引分−坂本
高橋−釣込−○小野塚
小林−優−○渡辺
斎藤−引分−益山
三浦−引分−宮野
紺野−引分−藤田

◇三回戦
会津8−2相双
○本名−内股−只野
○山田−内股−塩沼
○星−内技−橋本
○伊藤−払巻込−太田
○湯田−合せ技−目黒
○滝沢−大外落−宍戸
斎藤−横四方−○木田
星−外かけ金沢
曽根−合せ技−○岡崎
○新井田−飯高

◇決勝
会津4−2磐城
○本名−大外刈−遠藤
○山田−大内刈−白井
星−優−○桜井
伊藤−引分−太田
○湯田−払腰−坂本
滝沢−引分−小野塚
斎藤−大内刈−○渡辺
星−引分−益山
○曽根−優−宮野
新井田−引分−藤田

なおこの日猛暑の中観衆がぎっしり詰めかけ空前の盛況であった

男女共小名一中優勝
ジュニアレク庭球

郡中学校体育連盟主催ジュニアレクリエーション県大会庭球予選大会は十三日午前九時から小名浜第一中コートに開き出場した女子六チーム、男子十二チームのうち男女とも小名浜一中が優勝した

【女子チーム】▼五勝零敗新妻−湯浅組（小名浜一中）▼四勝一敗小野−松永組（小名浜一中）▼三勝二敗 芳賀−田子組（川部中）

【男子チーム】十二チームを三ブロックにわけ平一中、小名浜一中、平二中を選出 ▼小名浜一中2−1平一中▼平一中2−1平二中▼小名浜一中（不戦勝）平二中

平豫選結果
ジュニアレク

県中学校体育連盟主催のジュニアレクリエーション大会平地区予選は十一、十二の両日二中グランドで行った結果バレーは三中、ソフトは二中、三中、野球は一中が夫々優勝、郡市大会に出場することになった、戦績次の通り

▼バレーボール 三中2−0一中 二中2−0一中 三中2−1二中
▼ソフトボール（二中棄権） 一中13−2三中 三中18−11二中
▼野球 三中11A−1二中 三中6A−0一中 一中5−2二中

なお郡市対抗戦はソフト二十日市営グランド、バレー二十二日四倉中、野球二十三日、小名浜二中でそれぞれ午後一時から行うことになった

黒田A組優勝
濱通り弓道大會

浜通り弓道連盟主催の弓道大会は十三日午前九時から平商高と平市一丁目地内磐城弓道場の二箇所で開き十七団体（女性を含む）凡そ七十名の選手が覇を競ったが、結局団体の部では黒田A組、個人の部遠的では小林忠行、近的では吉田直衛の両選手が各々優勝した、成績次の通り

▼団体の部 ❶黒田A組❷常磐二組❸吉岡A組
▼個人の部（遠的）❶小林忠行❷大野富男❸目黒宗清❹高根沢秀雄❺山下昌三郎（近的）❶吉田直衛❷川島道利❸舟山昇❹小山弁一❺富士久二郎

（写真は大会風景）

赤痢菌をバラまく
保菌者を調査
十四日から八千六百名を

平保健所では夏期保菌調査を来る十四日から八月四日までに実施する、この調査は炭鉱街などの赤痢菌をばらまく保菌者発見のためで徹底的に行うもので調査人数は五千三百七十七名にのぼる、各地区ごとの調査人数は次の通り

▼湯本地区（三函、上町、八仙上川）千名▼内郷地区（浜井場一の坪）千七十二名▼好間地区（古河鉱業西区、町田、上の原上好間、下屋敷）二千五名▼平地区（鎌田町、月見町、禰宜町）千三百名

なお植田保健所管内では勿来町、錦町など住民三千三百名に対し保菌調査を実施する

内郷の精神文化
調査を行う

国立精神衛生研究所厚生技官平賀孟氏は十二日来平、来る二十三日から二十七日までの間にわたり内郷町の精神文化の社会調査を行うこれは資料の蒐集と炭鉱地帯の社会を精神衛生面からみるものでこの成果は注目される

憂國の熱辯を振う
法政大生の模範辯論も
十九日湯本町で開催

法政大学杯、本社楯、石城双葉町村会楯、平石城公連会長杯争奪の県下高校、青年団雄弁大会は来る十九日午前九時から湯本町公民館で開催されるが、当日は特別出演として同大学弁論部員の模範弁論もある筈で、若人たちの憂国の熱弁が展開され盛況を予想される

縣体の打合會

第五回県綜合体育大会事務局では十六日午前十一時から平市会議事堂で単位種目別打合会を開く

湯本町野球
決勝は十六日

湯本町長杯第三回一般野球大会準決勝は十三日午後三時半から湯本一小グランドで行った結果上町、天王崎両チームが十六日決勝戦を行うことになった戦績は次の通り

上町4−3台の山
天王崎10−5青葉

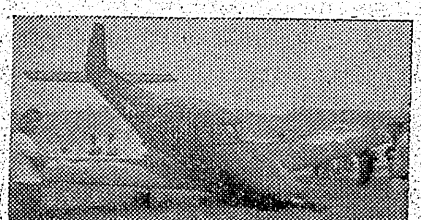
後節競輪

平競輪後節第一日（十三日）は四百八十六万六千三百円の売上げで場外売場は三丁目八十万二千五百円郡山九十一万五千七百円で最高八百円の穴で大した穴は出なかった、入場者千二百名

なお二日目（十四日）は五レース目に大雨にあったためレースを中止した、二レースに四千二十円の中穴が出た、入場者正午現在二百名

小アジ水揚

十四日朝小名浜町大敷網は小あじ四千貫を同町魚市場に水揚げした高値百六十円安値九十六円（貫当り）でひきとられ鮮魚をまつ京浜地方に出荷された


米軍機の不時着＝既報

町村長會
あす開く

石城郡町村長会は明十五日午前十時から石城地方事務所会議室で開き教育委員会法等改正案、お盆行事について協議する

更生保護團體
平自營會
會長 檢事 高橋嘉門
理事 平市長 諸橋久太郎
〃 平市公安委員長 山崎与三郎
〃 平拘置支所長 柏栄寿
〃 弁護士 門伝清吾
〃 〃 真木桓
〃 〃 秋元元作
監事 平市消防団長 松本金市郎

隅田川など安結す
手當闘爭

内郷町白水、水野炭鉱（従業員二百八名）では夏季手当二万円を要求、十三日の団交で会社側では鉱員六千二百円、職員七千二百円の回答を行ったが不満として十六日午後三時半から再び団交を開く要求額は一万円（税込み）となっている、なお隅田川炭鉱では去る十一日要求一万八千円に対し九千七百円（税込み）関本炭鉱は二万二千円要求に対し九千円でそれぞれ妥結した

天氣予報
十四日

【今晩】北東の風くもり時々俄か雨
【明日】北東の風やゝ強く雨一時かなり強い雨となる 海上今晩穏かですが霧が濃くなり明日はシケて来ますから今後の気象通報に御注意下さい

小名濱音頭
三篇を入賞と決る

〃観光小名浜〃にふさわしい小名浜音頭がないのは淋しいと同観光協会で小名浜音頭を公募中だったが応募作品十二篇のうちから同文化協会等が合同審査の結果、この程次の三篇を入賞作品と決定したなお作曲は近く湯本町常磐炭鉱内城勇氏に依頼する

▼一位 小名浜町古港五八 たかせ・かすみ作

一、港小名浜 入舟出舟
ヨーイく
今日も大漁のソーレ魚市場
ササヤートセヨイヤナ ハヨーイ ヨイトコ、ヨイサノセ
（はやし以下同じ）
二、桜吹雪に緑の松は一と目千里のゾーレ富力浦
三、綱取岬に朝日がさせば久慈と大津がソーレまた見える
四、海で鍛えたマドロスさんも浜の女にソーレ弱くなる
五、港まつりは打揚げ花火こがす夜空にソーレ燃ゆる水

▼二位 小名浜町林の上野田吉雄作

一、ハアー 桜吹雪の勿来の関を越えりやみちのく波の花散る小名の浜く
ヤットン小名浜ヤンレハソレ シャントシャンくよい港
（はやし以下同じ）
二、小雨春雨三崎は煙ぶる やるせないぞえ泣いて船待つ片便りく
三、郡帰りか北海道かあいの小名浜寄らにゃ行けない恋の浜く
四、あれは小名かよちらくあかり船はおもかじイカリおろそよ顔見せにく
五、どんと波打つ三千トンで恋の夜釣かぬれて動かぬ影二つく

立木公賣公告
一、石城郡田人村大字黒田国有林ほか四件なら、雑材、くり、さつ 計一三、二九五本、三、三四一石以上七月十六日午前十時公売にする
八月五日午前十時 杉材外八種類 一四、六六二石
右の通り当署に於て公売に付す詳細は植田町営林署又は所轄担当区事務所に御問合せ下さい
植田町營林署

設計改店舗装
ウインドケース
陳列器具金具
鏡及広告鏡
専門製作
●外務員数名募集●
平市長橋町電689
吉村ガラス商工

新鮮鶏肉
うなぎとどじょう
サキ売り人勉強
毎度有がとうございます
平市白銀町一〇
長谷川鳥肉店

専売特許
アイスカステラ
平、一町目 藤寅 電一四九

今評判の天才
高嶋鵬世先生来る!!
大好評
運命鑑定
日本詩人鑑相家本部鑑定部長
15日より25日迄 昼夜
平市南町 丸丹旅館

北海道一周観光團
會員募集
▽期日 九月六日出發十五日歸着
▽費用 一八五〇〇圓（全區間二等）
▽人員 五〇名
詳細は最寄りの駅又は平交通公社へお問合せ下さい

満月下の富士登山と熱海温泉へ
▽期日 八月四日出發六日熱海解散
▽費用 二七二〇圓
▽人員 六〇名
▽詳細は最寄の駅又は平交通公社へお問合せ下さい
主催 日本交通公社

大瀧發電所と平水道問題

中村新太郎技師をしのぶ

（中）野崎滿藏

此大瀧発電所の設計は当時中央に於て電気界の権威者と称された中村新太郎技師であつた、同氏は昭和十二年東京築地の聖路加病院で他界せられたが、私が見舞に行く度に同氏は技術者として自分の設計が実現せぬことを残念に思い、大瀧発電所の建設には平町は補助を与えても施行すべき事業である、平町は将来人口も増加して水道の水量が不足を生じ増水せねばならぬ時が必ず来る、今回の妥協案に依る設計は発電所水槽より平水道へ優先的に十個の水を取水するのだから平町の人口二十万に達する迄は大丈夫である、コンナ一挙両得の事業はない、其のため日本の電気王と称された帝国電燈会社の社長であつた樺島礼吉氏は一人一職主義で如何なる会社にも重役として就職せぬ堅実の人であつたが、中村、栗原の両氏を説得して平電力会社の取締役に就任して貰つたのである、貧弱な会社も金融が出来て工事が容易に進むことになつたのである、ドウカ此顛末を磨滅せぬ仙台石に切付けて水源地に後世のため建立して置いて呉れとて遺言的の言葉であつた

回顧すれば大正十三年夏頃時の香坂知事が此紛争を何んとか治めんと栗原社長を県庁に呼寄せ、大瀧発電所水利権を一時取下げろと強要した、頑強な栗原氏も知事の強要にやむなく口頭を以つて承諾をして帰社し、重役一同に報告した、如斯重大案件を社長一人で決することは不都合だ、栗原氏は社長を辞して平取締役となり、私が社長となり県庁に出頭、知事に面会して取下げの断りをした、其時の香坂知事の憤怒は非常なものだつたが、私も若年で随分心臓が強い方であつたが、いさゝか恐れを為したが遂い頑張つて取下を拒絶した、すると反対期成同盟会の人達は又町民大会を開催し、夜分高張提燈や燈籠に野ザ満を葬れと云う文字を表し、街頭演説をして市内を廻つた、私もドンナ演説をするかと近くに行つて聞いて居ると、友達が私の傍に来て世の中には馬鹿者が無いではない、夜分は一人で演説などを聞きに出るなと忠告されたが、人の運命は極まつて居る殺されたら夫迄だと毎夜一人で出掛けたものだつた

其時西村屋の先々代の主人公鈴木賢助氏と仙台屋の先代明智浅吉氏の両元老が仲裁に出て越乃家で会見し、其結果私より平水道将来の為にも又平地方電燈電気事業の為にも、コンナ有利な事業は無い、必ず発電所を経営する条件付で此水利権を平町に寄附すると申出たが、其時小田吉治氏も同席せられ愈よ此事業が完成すれば野崎氏は銅像を建てらるゝと賞賛された、両元老も大喜ばれたが、反対同盟会は一言の許に拒絶して仕舞つた今考えると残念なことである

無關心な旦那様さえ目をみるはゆかたの柄

『湯上りの女房に亭主チヨツト惚れ』という川柳は涼しいゆかたの奥さんを賞めたもの。よそのお店を廻つてお気に入りの柄が無かつたら藤越にお出で下さい。キツト旦那様は喜んで下さいます。

●東京本染ゆかた 七二〇円より

藤越 小名浜 平市

洋服は高島屋 平二

今年は淋しいもよう

鎌田の花火大會ごたつく

平市鎌田町青年会（会長丸山晋三氏）では去る八日午後七時から町内保育園で臨時総会を開き恒例の平夏まつり行事中の華〝流燈花火大会〟の開催について協議したが平市商工祭協賛会では大会開催補助金として五万円を予算に計上しただけで付帯条件として『恒例の八月二十日開催日を二十二日に延期して二十三日から平市一円で開かれる第五回県綜合体育大会の前夜祭を兼ねて欲しい』との申し入れをして居りこれに対して青年会側では『昨年の開催費は三十三万円かかつて居りわずか五万円位の献金では仕掛花火代がやつとで流し燈籠や打上花火、電気装飾、万盤供養塔の設備などは全然出来ない、昨年明年度からはもつと予算を増額してやると公約して置きながらそれを不履行して伝統ある二十日の開催日をそちらの都合で二十二日に延期させしかも県体の前夜祭を兼ねさせると云つた虫のよい考えはどうかと思うと云う意見が一致、今年は五万円の予算内で花火を三、四発上げた程度に簡単に済ます模様で例年の夏の夜空をこがす五色の打上花火や川面を埋める数千の流し燈籠の大壮観は見られず県下各地から集まる県体選手団もあまりにも貧弱な前夜祭に驚くものと予想される

時計ドロ

川辺村大字小川字梅田四採炭夫増子林七（三三）は上遠野村大字滝軌道夫加納愛次郎氏（四九）方に二十五年七月中旬ごろ下宿中腕時計一個（五千円相当）を騙取した容疑で二日植田地区署に検挙十三日書類送検

青年學級研究會生る

會長に坂本草野村長

石城平地区青年学級運営研究会創立総会は十三日午前十時から湯本町公民館に開き会則の審議、役員の選出を行い結成式を行つた、事務所は草野村公民館に置き青年学級及資料蒐集並びに交換、運営に関する調査研究、相互視察及び研究発表などの事業を行い新役員を次の通り決定した▼会長坂本惣次郎（草野）▼副江川丈夫（湯本）卓野光夫（赤井）▼書記青木茂平（草野）▼会計遠藤雅男（湯本）▼会計監査吉田幸（小名浜）石井覚雲（磐崎）大場シキ子（大野）なお理事会は八月三日午前十時から草野公民館に開き運営方針を協議する

墓前祭行う

澤村勘兵衛勝爲

小川江筋開さく者沢村勘兵衛勝為の墓前祭は十四日午前十時から平市上平窪横山台で挙行した

磐毎の誤報 甚だ迷惑だ

片寄専務語る

未完成の市営住宅請負人の無責任に非難という磐毎新聞の記事に対し北目町の十九号、廿二号を請負つた平建設KKの片寄伝右衛門専務は甚だ迷惑したと左の如く語る 十九、廿二号は遅れたが、去る七日には立派に完成している、それを十三日附の新聞で未完成という報道をすることは甚だ迷惑だ十四号は私の方とは関係ない

藤原川の底を浚渫

洪水防止に工費百萬圓で

小名浜では先月二十四日の豪雨で藤原川の河水がはん濫し農作物に多大の被害を受けたため、県に藤原川の河底の浚渫を陳情中だつたが県直営の防災工事として百万円をもつて二つ橋―吉川橋間の河底をくつさく工事を急速に行うことになり、十六日ごろ県から係員が来町し測量に当ることになつた

これが出来上ると今までのように一寸とした雨でも河水がはん濫しなくなるので地元でも工事のうち一割を負担することになつた

十二萬圓サギ

他人の山をタネに

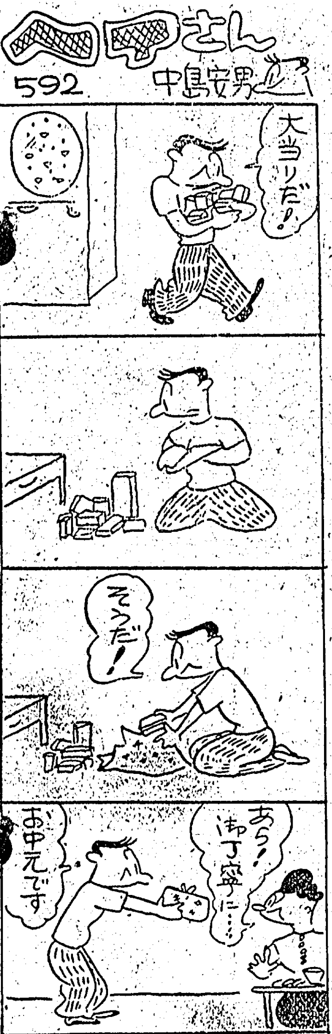
小名浜地区署では本籍山形県南石山郡上山町住所不定大工菅野利三郎（四五）を詐偽を働いた容疑で指名手配中のところ十二日栃木県日光町署に逮捕されたので身柄を引取り十四日身柄送検した

菅野は昨年九月二十九日泉村泉四二農業永井鹿配さんに他人の山林をみせて牛小屋をつくる材料を世話すると十二万八千円を詐取し逃走していたもの

ラジオ JOCP JOHQ

ローカル 平放送 15日

前七・二五 ラジオ懇話室『昔の農業と今の農業』今野磐治
前一一・三〇 夏のラジオクラブ『音楽』郡山小
後一・四五 婦人の時間『経済的な買物』主婦三名
後三・四五 教師の時間『教壇の思い出』
後六・四五 平若松通信
後七・三〇 ラジオ風物詩〝夏〟


592
中島安男
大当りだ！
そうだ！
あら！御丁寧に…
お中元です

生ビールは東亀軒で

肛門科 外科 上田醫院 平市南町（平局裏通）電話一二九番

通学服はあかや

お砂糖でつくつた昔の味の スキーソース とんかつ・ウスター 東 宮田商店KK 京

移転のお知らせ お盆用広告サービス品 ホルダー 広告マッチ タバコマッチホルダー サトー広告社 平市 自治警察通り（浦日酒店トナリ）

ラジオ祭 6月1日―7月15日 オリンピツクにそなえて ラジオ賣買奉仕 平三丁目大通り 競輪場外売場前 電光社

キヤンプ テント 各種テントカタログ進呈 貸テント（一泊二日）4…5人用200円 平市六丁目 電1478 敷島テント

募集 一、男子作業員二名 十八才より二十二才まで 住込三千円、通勤四千百円 一、女中さん一名 住込 千五百円 小名浜町林の上 電二六七 吉六商店

戦国無頼 15―21日
巨匠稲垣浩会心の名作
悲愴な戦國の嵐に果敢なく散り行く若人の夢！これが武士の宿命か!! 大東寶が放つ豪放華麗勇絶悲壮の大時代劇！
三船敏郎 山口淑子 三國連太郎 浅茅しのぶ 市川段四郎
ひかり座

15日より2本立
続赤穂城
大当り 黄金狂時代
全時代劇ファン待望作
片岡千恵蔵 木暮実千代 山田五十鈴 薄田 月形
賭と勝負でてんやわんやの長屋騒動!!
伴淳三郎 清川虹子 旭輝子 坊屋三郎 山茶花究 益田喜頓
夜の部七時二十分より
民劇

募集 一、女中さん二名 十七才より二十才まで 住込 千五百円 一、男子作業員 五名 十八才より二十二才まで 住込 二千円 小名浜町古湊 三九 電四四〇 日東物産商會

いわき名物 銘菓 常磐黒ダイヤ羊羹 常磐黒ダイヤ最中 発売いたしました 市川パン店 平市田町 電936

蛇の目ミシン 平市南町 電九六〇 草野ミシン商會

盛夏味覚の王座 アユ料理 鮎料理二品 冷ビール一本 三百円より 鮫川の鮎漁は解禁になりました生鮎を毎日取寄せ献立を変えて調理致します ゼヒ一度御来席を御待ち申上げます 菊よし 平市鍛冶町 電1079

板ガラス陳列ケースの御用命は [illegible] 吉村

金融と利殖 男女社員募集 お気軽に御来所下さい 三菱殖産株式會社 本社 東京都千代田区神田神保町3―27 営業所 平市白銀町14（電話1381） 所長 田中義枝